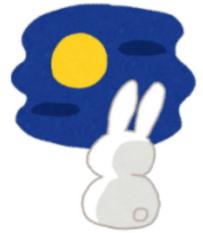


国語だより その8

相良中学校 国語部

天の原^{あまはら}ふりさけ見れば春日^{かすが}なる
三笠^{みかさ}の山^いに出でし月かも



今日の一首は、「小倉百人一首」の七番、安倍仲磨^{あべのなかまる}の歌です。歌の内容は「大空^ふを振り仰いで見たら、故郷^{こきやう}の春日にある三笠山^{みかさやま}に出る月と同じ月が輝^{かがや}いていた」というものです。

安倍仲磨は「遣唐使」の一人として中国に渡った留学生です。この歌はいよいよ日本に帰る、という送別会の席で詠んだものとされています。しかし、帰りの船は途中で難破してしまい、中国に戻ってしまった仲磨は、故郷に帰ることなく中国で一生を終えてしまいます。彼の死後、この歌だけが海を渡って故郷に伝えられたのでした。

読書感想文をどう書くか④～執筆編の2～

「正しい読書感想文の書き方」などというものはありません！

読書感想文を書くヒント。今回は「親友からの手紙に返事を書く」です。手前味噌ですが、これ、かなり使えますよ。

ある日、あなたの親友から突然手紙が届きます。そこには彼（彼女）の身に最近起きた出来事が綴られていました……。そう、それこそがあなたの手にした本。それを読んだあなたは、少し長めの返事を書くことにしました。

【書き出し：感謝やねぎらいの言葉から】

「君（この本・登場人物）に出会えてよかった」「あなた（登場人物）は本当にがんばった（苦しんだ、たくましかったなど）ね」とその本（物語）を評価します。

【応援した、心配したできごとについて】

あなたにとって初めて聞く親友の体験。ハラハラドキドキ、またはワクワクしながら読み進めたはず。一番のできごとについて、読んで感じたことを伝えましょう。

【ヤマ場での行動や選択の評価・分析・感想】 ←ここが中心になります。

「〇〇できてよかったね」（評価）「きっと〇〇だったから△△したんだね」（分析）「読んでいて何度も泣きそうだったよ」（感想）などなど。

【自分の近況＝共通点や相違点】

「ぼくにもこんなことがあったよ」「私はできなかったんだ」教えてくれたのだから、お返しに自分のことを伝えましょう。

【最後に：これからのこと】

あなたの生き方や考え方の変化を伝え、親友のその後に祈りを捧げるといいですね。以上、登場人物への「共感」がポイントとなる感想文の書き方を紹介しました。

